

**【鳥取県の全体目標】** がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を70.0未満とする  
 (令和5年度まで) (男女別の目標値 男性：90.0未満 女性：50.0未満)

**【中期目標】** 精度の高い活用しやすいがん患者(登録)情報の提供と登録情報の活用によるがん医療の均てん化への貢献  
 (令和3年度～令和5年度)

前年度の目標	1) がん登録の精度向上を図る 2) がん登録データを利活用し認知度を高める
前年度Plan	前年度Act
1) がん登録の精度向上を図る ・定期的に研修会を開催し、実務者のスキルアップを図る ・情報交換会を開催し、施設間の実務者同士で情報の交換・共有し、共通理解を図る ・各施設で院内がん登録委員会等の設置及び運用を実施する 2) がん登録の認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPを利用して情報発信をする ・各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する	1) がん登録の精度向上を図る ・認定者研修、Webセミナー等に継続して積極的に参加していく。 ・SNSの活用を行い、がん登録の精度向上と質の担保を図る。 ・認定者試験・更新等を行いデータの質を担保し、精度の高いデータを提出する。 2) がん登録の認知度を高める ・一般の方の認知度を高め、より多くの方にHPを見ていただけるよう内容を分かりやすく更新していく。 ・データを利活用し、各施設のホームページ更新を行う。 ・自施設の他部門との連携を継続する。

今年度の目標	1) がん登録の精度向上を図る 2) がん登録データを利活用し認知度を高める		
Plan(計画)	Do(実施)	Check (点検・評価)	Act (処置・改善)
1)がん登録の精度向上を図る ◎実務者のスキルアップを図るため、定期的に開催される各種研修会等に積極的に参加する。 ①鳥取県院内がん登録実務者研修会(主催:鳥大) ・年2回程度実施予定(第1回 9/3開催) ②院内がん登録実務者研修会(主催:国立がん研究センター) ・データ分析研修 ・中級者認定者研修 ・初級者認定者研修 ◎がん登録データの質の担保を図るため、実務者認定資格を取得または保持する。 ①県内の認定資格者の把握のため、実態調査を実施する。 ②院内がん登録認定・更新試験を受験する(主催:国立がん研究センター) ・中級認定者試験 ・中級者認定更新試験 ・初級認定者試験 ・初級者認定更新試験 2)がん登録データを利活用し認知度を高める ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用して、医療関係者・一般の方に役立つ、正確ながん情報を提供する。(企画:鳥大) ◎各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する ・各施設のホームページ等でがん登録集計データを掲載・更新する ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用し、生存率を公表する。 ・主に5大がんについて、部位別、ステージ別の集計を行いホームページに掲載する。(企画:鳥大)	1)がん登録の精度向上を図る ◎実務者のスキルアップを図るため、定期的に開催される各種研修会等に積極的に参加した。 ①鳥取県院内がん登録実務者研修会(主催:鳥大) ・第1回 9/3開催→8施設 ②院内がん登録実務者研修会(主催:国立がん研究センター) ・中級者認定者研修→ 6施設 ・初級者認定者研修→ 2施設 ・鳥大がんセミナー他、各種Web研修→ 8施設 ◎がん登録データの質の担保を図るため、実務者認定資格を取得または保持に努めた。 ①県内の認定資格者の把握のため、実態調査を実施した。 ・アンケートを実施し、集計した。 回答施設 9施設 ②院内がん登録認定・更新試験を受験する(主催:国立がん研究センター) ・中級者認定更新試験→ 2施設 ・初級認定者試験→ 1施設 ・初級者認定更新試験→ 1施設 2)がん登録データを利活用し認知度を高める ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用して、医療関係者・一般の方に役立つ、正確ながん情報を提供する。(企画:鳥大) ・各施設からデータを収集し、集計してHPIに掲載した データ提出施設 10施設 ◎各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する ・各施設のホームページ等でがん登録集計データを掲載・更新した→ 5施設 ・自施設の他部門へ情報提供を行った→ 3施設 ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用し、生存率を公表する。 ・主に5大がんについて、部位別、ステージ別の集計を行いホームページに掲載する。(企画:鳥大) ・各施設からデータを収集し、集計した データ提出施設 9施設 ◎院内がん登録委員会等を開催し、分析結果等の情報を提供した→ 5施設	1)がん登録の精度向上を図る ・研修会、Webセミナーに参加することで人体解剖等の理解を深めることができ、より精度の高いがん登録の実施に繋がった。 また、研修会、Webセミナーで得られた情報を実務者間で共有することができた。 ・SNSを活用することで新規・変更ルールを確認し、不明な点の解決を行いより精度の高い登録を実施することができた。 ・プール問題等を活用し自己学習を行うことでスキルアップに繋がった。 ・初級者認定者試験、初級・中級者認定更新試験を受験し資格を取得・更新した。 ・認定資格者の実態調査を行ったことで、有資格者の状況把握ができたとともに、実務者間での連携や情報共有を必要としていることが分かった。 2)がん登録の認知度を高める ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPの更新を工夫することで、アクセス数の増加に繋げることができた。(企画:鳥大) ◎各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する ・自施設のホームページを更新することで、新しい情報を提供することができた。 ・医師や他部門への資料作成・提供することで診療等のアシストを行うことができた。 ◎院内がん登録委員会等で、分析結果等の情報共有を行うことができた。 ◎QI研究2019年未実施理由回答の際、医師への情報提供が部分的にだが行うことができた。 ◎日本胃癌学会の胃癌認定施設申請や医師の研究用として、がん登録データを基にした情報を作成し提供できた。	1)がん登録の精度向上を図る ・今後も研修会等に参加、SNSの活用を行い、がん登録の精度向上と質の担保を図る。 ・登録精度向上のため、研修会を開催するとともに研修会情報を共有できるように情報提供を行う。 ・研修会、Webセミナーで得られた情報を実務者間で共有し、共通理解を図る。 ・今後も、プール問題等を活用し自己学習を行いスキルアップを図る。 ・データの質を担保を図るため認定資格を保持できるよう認定試験情報等の情報提供を行う。 ・実務者認定資格を取得・更新することにより、がん登録データの質を担保する。 2)がん登録の認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPのデータ等を更新し、一般の方にも役立つような情報を提供するとともに、アクセス数の多いコンテンツを定期的に更新する。 ・自施設のホームページを更新し、新しい情報を提供する。 ・他部門との連携を継続することにより更に認知度を高める。 ・院内がん登録委員会等を開催し、分析結果等の情報を提供する